

USFiles *Plus*TM

Version 3.22

Update Information

Oct 2009

Embedded Solution Partner

日新システムズ

はじめに

この度は、USFilesPlus をお買い上げ頂き有り難うございます。

このドキュメントは、USFilesPlus Ver.3.21 からのバージョンアップに伴う修正／更新履歴です。

詳細につきましては、ソフトウェアに含まれておりますバージョンログ、およびソースコード等をご覧ください。

所有権についての注意事項：

USFilesPlus は米国 Lantronix 社（旧 USSoftware 社）との業務提携により、(株) 日新システムズが独自に製品化したものです。

このマニュアルとソフトウェアには、(株) 日新システムズとのライセンスの中で規定されているものを除いて、コピーおよび開示は禁じられております。このマニュアルに含まれている内容については予告無しに変更する事があります。記載の会社名、商品名は各社の登録商標です。

USFilesPlus Ver. 3.21 以降での主な機能追加および変更

USFilesPlus Ver.3.21 以降に追加および変更を行った主な機能を下表に記載します。

No.	追加/変更機能	Version	関連パッケージ	内容
1	exFAT ファイルシステム対応	Ver.3.22	USFilesPlus exFAT	exFAT ファイルシステムに対応
2	10 ミリ秒精度タイムスタンプ対応	Ver.3.22	USFilesPlus	タイムスタンプに使用する関数を 10 ミリ秒精度の関数に変更する機 能を追加

1. exFATファイルシステム対応

exFAT ファイルシステムに対応しました。

exFAT ファイルシステムをご使用いただくためには、USFilesPlus exFAT オプションが必要です。

USFilesPlus exFAT オプションのご使用方法については、以下のいずれかのファイルをご覧ください。

<パッケージ CD-ROM>¥disk1¥usfex¥siosrc¥exfat.txt (英文)

<パッケージ CD-ROM>¥disk1¥usfex¥siosrc¥exfat_j.txt (和文)

2. 10 ミリ秒精度タイムスタンプ対応

USFilesPlus Ver.3.21 までは、ファイルのタイムスタンプにドライバインターフェイスのタイムスタンプ関数を使用し、その精度は2秒でした。

マクロ「USF_EXTRA_TIMESTAMP」を定義することで、ドライバインターフェイスのタイムスタンプ関数の代わりに、10ミリ秒精度の usf_ext_timestamp()関数を使用されるようになります。

usf_ext_timestamp()関数は、以下のファイルのサンプル関数を参考に、お客様でご用意していただく必要があります。

<パッケージ CD-ROM>¥disk1¥usf¥siosrc¥usfutil.c

USFilesPlus Ver. 3.21 更新履歴 (FAT12/16、VFAT、FAT32)

USFilesPlus Ver.3.21 以降に修正した不具合等はありません。